

岩国医療圏地域医療構想調整会議（令和２年度第１回）議事概要

【日時】 令和３年１月８日（金）～１月２２日（金）

【開催方法】 書面開催

【議事内容】

新たな病床機能の再編支援のため、国が創設した「病床機能再編支援補助金」を申請した医療機関についての審議を書面にて行った。

地域医療構想の実現に資するため、医療法人錦病院及びマサキ外科肛門科から急性期病床を削減する旨の説明があり、協議を行うとともに、それに伴う地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更を決定した。

○ 書面協議結果

医療法人錦病院から、医療従事者の確保の問題や、病床稼働の減少等により、病床数を適正数に減床し、環境改善を見直すためなど、病床の削減理由が示された。

また、マサキ外科肛門科から、今後医療圏人口が減少し、入院手術患者数の減少も見込まれるためなど、病床の削減理由が示された。

病床削減等についての質疑応答がなされ、それに伴う２０２５プランの変更について承認された。

（主な意見・質問等）

○ 医療法人錦病院は、岩国医療センター等との連携のうえ、急性期医療について競合しない体制がつけられると良い。診療報酬上、データ提出加算の取得が望まれる。

⇒ データ提出加算については算定済みである。

○ マサキ外科肛門科について、緊急性及び安全性の維持・向上のため、看護職員数を増やす必要があると思われる。

⇒ 看護職員の増員に努めているが、夜勤のできる職員確保が困難な状況であり、今後も看護職員の増員に努めていきたい。